

第3章 火葬場利用者アンケート調査

1. 調査の概要

- ・ 目的 : 利用者の火葬場や火葬場の特別控室の利用状況、待ち時間やロビーの混雑状況、使用料の負担感、運営への要望などを把握するために実施した。
- ・ 対象者 : 令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)に札幌市の火葬場を利用したことがある札幌市民500名。
- ・ 調査期間 : 令和5年12月4日(月)発送～令和5年12月25日(月)回収締切
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収式調査
- ・ 回収数、率 : 回収数226票、回収率45.2%

■以降の凡例・注記

- ◎各図表で示す回答者数は、非該当者(その設問に答える必要のない方)、「無回答除く」の記載があるものについては無回答者を除いた数であるため、回収数以下になる。
- ◎単一回答の設問では、表記の割合は選択肢ごとに小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ◎複数選択可の設問では、表記の割合の合計は100%を超える。
- ◎クロス集計表の数値は表側〔行〕に対する%。各行ごとに最も高い割合のセルは濃い青、2番めは水色、3番めは薄い水色を着色している。

2. 調査結果

分析においては、全体集計のほか、全設問について年齢別、世帯構成別にクロス集計を行った。
また、火葬場の利用状況に関する設問（問2～問8）については、利用火葬場別、火葬場への到着時間別、会葬者の人数別でもクロス集計を行った。

これらを踏まえて、全体集計に加えて、統計上あるいは政策検討上有意と考えられる差異が見られたクロス集計結果について記載している。

（1）回答者の属性

問13 あなたご自身のことについてお答えください（いずれも○は1つだけつけてください）

（1）性別

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

（2）年齢

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
6. 60代	7. 70代以上			

（3）居住区

1. 中央区	2. 北区	3. 東区	4. 白石区	5. 厚別区
6. 豊平区	7. 清田区	8. 南区	9. 西区	10. 手稲区

（4）世帯構成

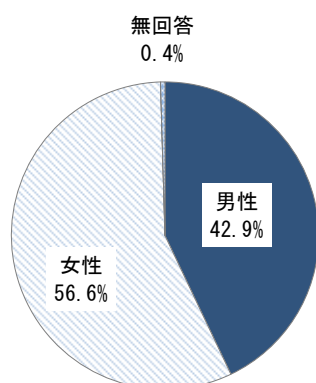
1. 一人暮らし	2. 自身と配偶者	3. 自身と配偶者と子ども
4. 自身と子ども	5. 自身と親	6. 自身と配偶者と親
7. 三世帯同居	8. その他（ ）	

回答者の性別は男性が42.9%、女性が56.6%と女性の比率が高くなった。

年齢は70代以上が最も多く42.0%、60代が36.3%、50代以下が21.2%であった（40代以下は4.4%であったため、50代以下として分析）。

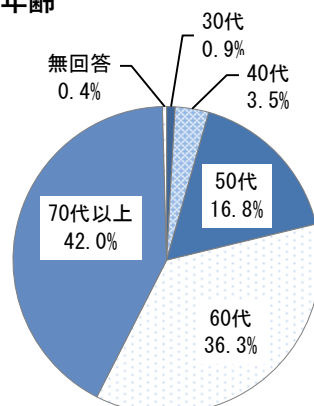
世帯構成は「一人暮らし」が38.5%、「自身と配偶者」が27.0%であった。これらを合計すると65.5%と約7割を占めた。

1) 性別



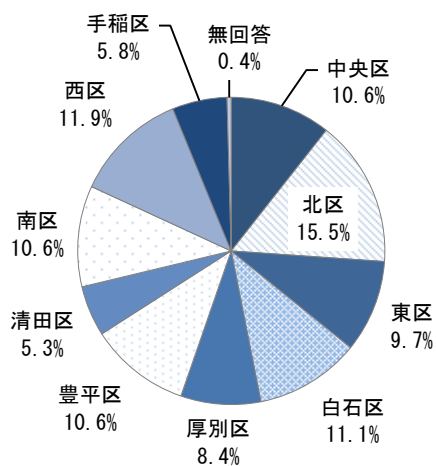
(1 つだけ選択、回答者数=226)

2) 年齢



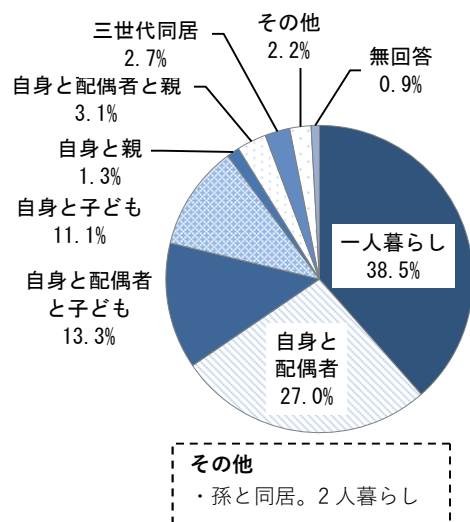
(1 つだけ選択、回答者数=226)

3) 居住区



(1 つだけ選択、回答者数=226)

4) 世帯構成



(1 つだけ選択、回答者数=226)

(2) 火葬場・墓地の問題に対する関心

1) 多死社会の到来による諸問題に対し札幌市で行っている取組への認知度

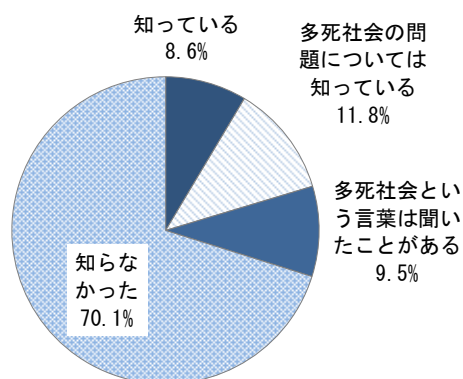
問 1 (1) あなたは多死社会の到来による諸問題に対し、札幌市で行っている取組についてご存じですか。(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 知っている | } ⇒ 問 1 (2) へ |
| 2. 多死社会の問題については知っている | |
| 3. 多死社会という言葉は聞いたことがある | |
| 4. 知らなかった | ⇒ 問 2 へ |

全体集計では「知らなかった」が70.1%と7割を超えた。

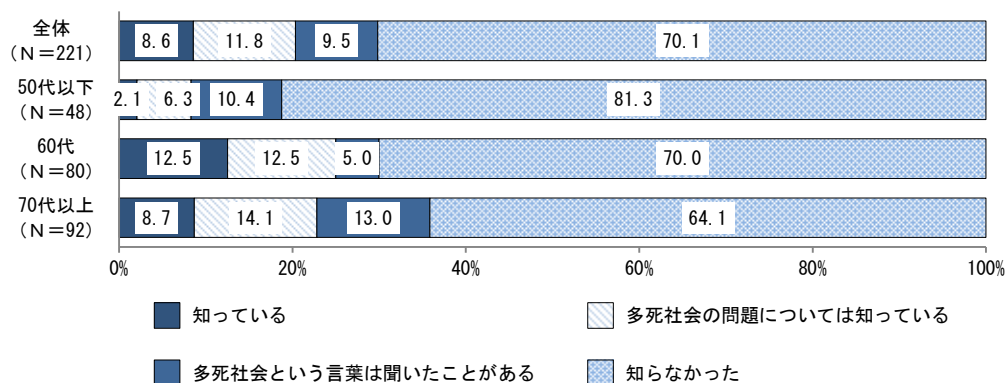
年齢別では、60代以上は7割以下だったが、50代以下では「知らなかった」が81.3%と8割を超えている。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=221、無回答除く)

■年齢別



(1つだけ選択、無回答除く、単位は%)

2) 多死社会という言葉や札幌市の取組を知ったきっかけ

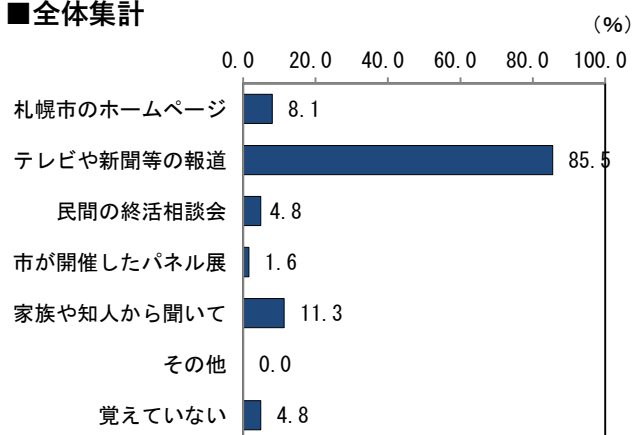
«問 1 (1) で「4 .知らなかった」と答えた方以外の方にお聞きます。»

問 1 (2) あなたは多死社会という言葉や札幌市の取組などを、どこでお知りになりましたか。
(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 札幌市のホームページ | 2. テレビや新聞等の報道 |
| 3. 民間の終活相談会 | 4. 市が開催したパネル展 |
| 5. 家族や知人から聞いて | 6. その他 () |
| 7. 覚えていない | |

全体集計では「テレビや新聞等の報道」が 85.5%と突出して多かった。
属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=62、無回答除く)

(3) 火葬場の利用状況

1) 直近に利用した火葬場

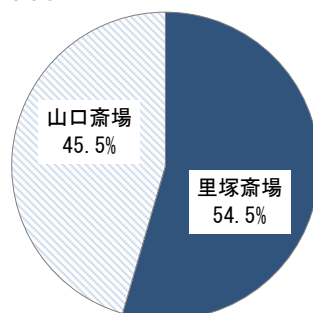
問2 あなたが直近で利用された札幌市内の火葬場は次のうちのどちらですか。(1つだけ○をつけてください)

1. 里塚斎場

2. 山口斎場

「里塚斎場」利用者が54.5%、「山口斎場」利用者が45.5%という結果であった。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=222、無回答除く)

2) 火葬場への到着時刻と待ち時間

問3 あなたが直近で火葬場を利用された際の、火葬場に到着された時刻及び入館までの待ち時間をお答えください。(ともに○は1つだけつけてください)

(1) 到着時間は何時頃でしたか。

1. 9時00分以前

2. 9時00分～

3. 9時30分～

4. 10時00分～

5. 10時30分～

6. 11時00分～

7. 11時30分～

8. 12時00分～

9. 12時30分～

10. 13時00分～

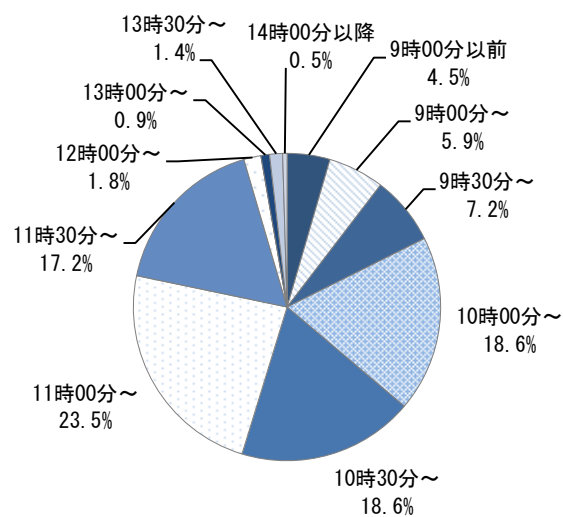
11. 13時30分～

12. 14時00分以降

全体集計では「11時00分～」が最も多く23.5%、「10時00分～」 「10時30分～」が18.6%、「11時30分」が17.2%で次ぐ結果となった。10時～12時までで全体の77.8%となっている。

火葬場別に見ても10時～12時までの利用が里塚斎場では84.7%、山口斎場では71.3%と多いことは変わらないが、里塚斎場で「11時00分～」の時間帯の利用が29.7%と特に多くなっていることが特徴的である。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=221、無回答除く)

■利用火葬場別

	9時00分以前	9時00分～	9時30分～	10時00分～	10時30分～	11時00分～	11時30分～	12時00分～	12時30分～	13時00分～	13時30分～	14時00分以降
全体 (N=221)	4.5	5.9	7.2	18.6	18.6	23.5	17.2	1.8	-	0.9	1.4	0.5
里塚斎場 (N=118)	3.4	3.4	5.9	16.9	20.3	29.7	17.8	0.8	-	0.8	0.8	-
山口斎場 (N=101)	5.0	8.9	8.9	20.8	16.8	16.8	16.8	3.0	-	-	2.0	1.0

(1つだけ選択、無回答除く、単位は%)

3) 火葬場での待ち時間

(2) 入館までの待ち時間はどれくらいでしたか。

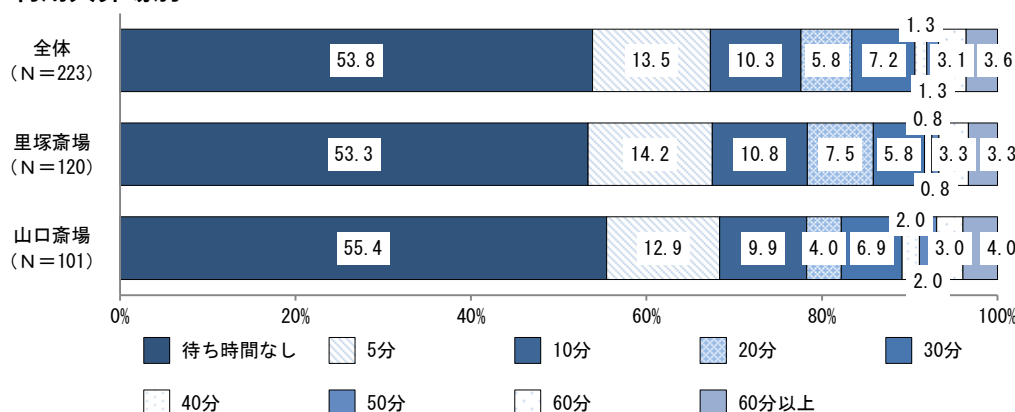
- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 待ち時間なし | 2. 5 分 | 3. 10 分 |
| 4. 20 分 | 5. 30 分 | 6. 40 分 |
| 7. 50 分 | 8. 60 分 | 9. 60 分以上 |

全体集計では半数以上（53.8%、223 件中 120 件）が「待ち時間なし」と回答した。入館まで 30 分以上の待ち時間（「30 分」～「60 分以上」の計）を要したのは、全体の 16.5%（223 件中 37 件）であった。

利用火葬場別に見ると、30 分以上の待ち時間を要したのは里塚斎場で 14.2%、山口斎場で 17.8%となっているが、これは有意な差ではない。

到着時間別に見ると、30 分以上の待ち時間を要したのは「9 時 00 分以前」を除くと到着時間「10 時 00 分～」～「11 時 30 分～」に集中している。

■利用火葬場別



(1 つだけ選択、無回答除く)

■到着時間別

	待ち時間なし	5 分	10 分	20 分	30 分	40 分	50 分	60 分	60 分以上	30 分以上
全体 (N=223)	53.8	13.5	10.3	5.8	7.2	1.3	1.3	3.1	3.6	3.6
9時00分以前 (N=10)	40.0	10.0	10.0	—	10.0	20.0	—	—	10.0	40.0
9時00分～ (N=13)	61.5	15.4	7.7	7.7	7.7	—	—	—	—	7.7
9時30分～ (N=16)	62.5	18.8	18.8	—	—	—	—	—	—	0.0
10時00分～ (N=41)	68.3	9.8	2.4	4.9	7.3	2.4	2.4	2.4	—	14.6
10時30分～ (N=41)	41.5	17.1	12.2	9.8	4.9	—	2.4	9.8	2.4	19.5
11時00分～ (N=52)	50.0	13.5	15.4	9.6	7.7	—	1.9	—	1.9	11.5
11時30分～ (N=38)	55.3	10.5	7.9	2.6	7.9	—	—	5.3	10.5	23.7
12時00分～ (N=4)	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—	0.0
12時30分～ (N=0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
13時00分～ (N=2)	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	100.0
13時30分～ (N=3)	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
14時00分以降 (N=1)	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0

(1 つだけ選択、無回答除く、単位は%)

4) 火葬後に法要を行ったか

問4 あなたが直近で火葬場を利用された際、火葬を行った当日、火葬後に法要（還骨法要や繰り上げ法要など）を行いましたか。（1つだけ○をつけてください）

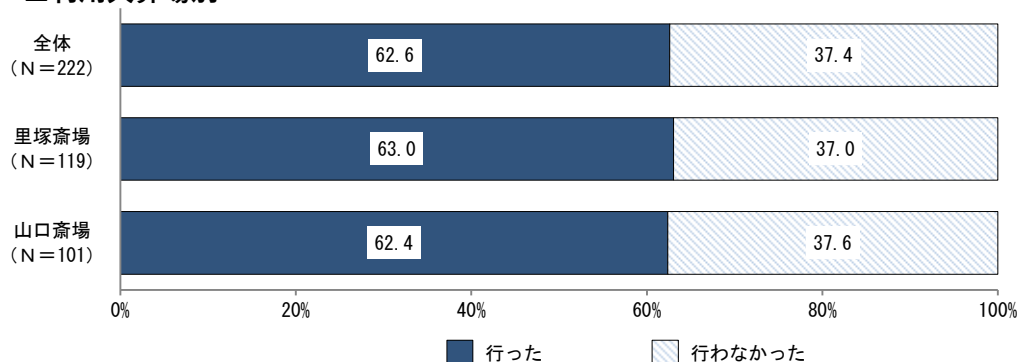
1. 行った 2. 行わなかった

全体集計では回答者の6割以上（62.6%）が当日に法要を「行った」と回答している。

利用火葬場別では法要実施率に差がなかった（里塚斎場利用者が63.0%、山口斎場利用者が62.4%が「行った」と回答）。

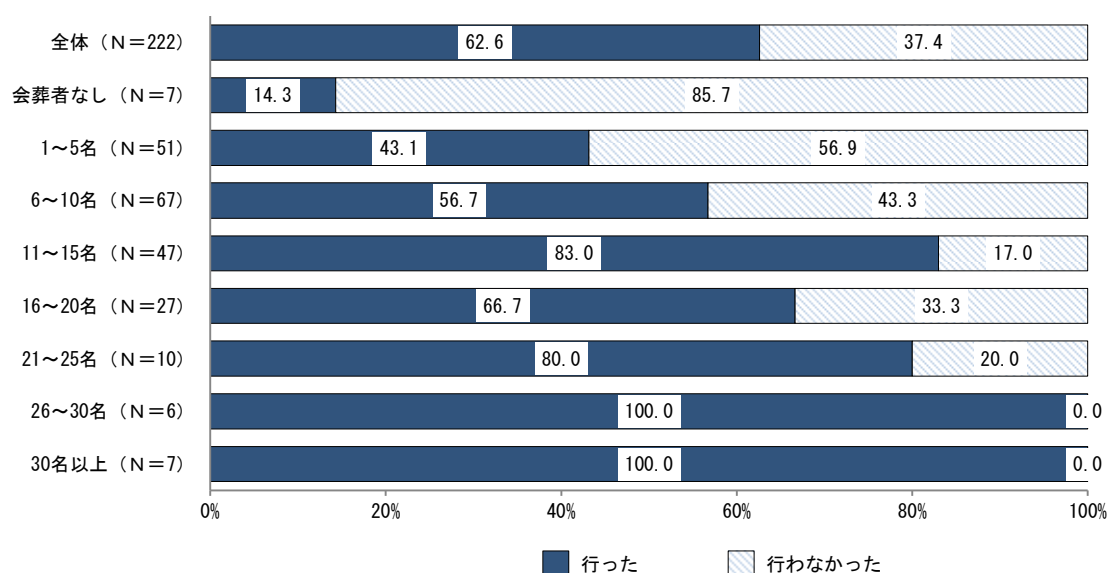
一方、後述する会葬者の人数別に見ると、会葬者が「1～5名」では法要を「行った」人は43.1%だが会葬者が「16～20名」では66.7%と、概ね会葬者が増えるにつれ法要を行う率は多くなっていることがわかる。

■利用火葬場別



(1つだけ選択、無回答除く)

■会葬者の人数別



(1つだけ選択、無回答除く)

5) 会葬者の人数

問5 あなたが直近で火葬場を利用された際の、火葬場への会葬者についてお答えください。(ともに○は1つだけつけてください)

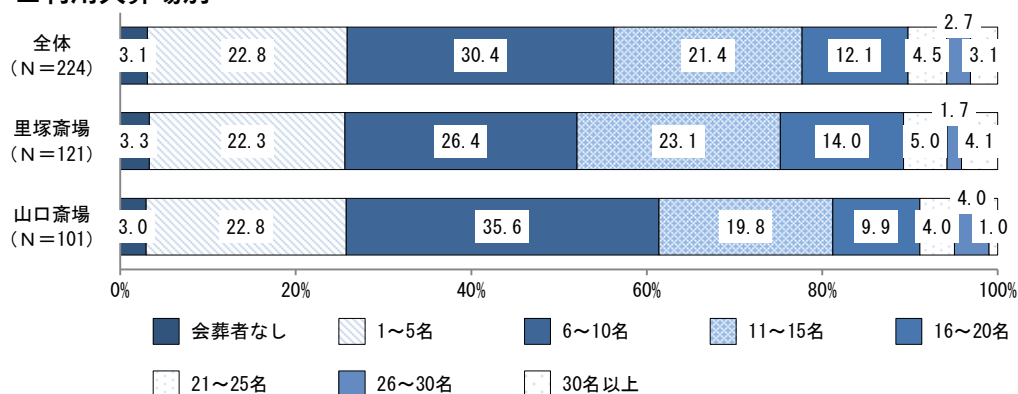
(1) 会葬者の人数は何人くらいでしたか。(回答者ご自身を除いた人数をお答えください)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 会葬者なし | 2. 1～5名 | 3. 6～10名 |
| 4. 11～15名 | 5. 16～20名 | 6. 21～25名 |
| 7. 26～30名 | 8. 30名以上 | |

会葬者の人数は、全体集計では「6～10名」が最も多く30.4%であった。「1～5名」が22.8%、「11～15名」が21.4%とほぼ同率で次ぐ。

利用火葬場別で見ても上述の傾向は変わらないが、里塚斎場では11名以上(「11～15名」以降の計)が47.9%、山口斎場では38.6%と、里塚斎場利用者では会葬者の人数が多くなっている傾向が見られる。里塚斎場利用者には市内で1、2、4番目に高齢化率が高い南区、厚別区、清田区が含まれることが影響した結果ではないかと考えられる。

■利用火葬場別



(1つだけ選択、無回答除く)

6) 会葬者が増えた可能性、何人まで増えた可能性があるか

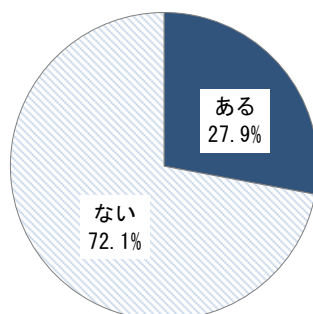
(2) 新型コロナウイルスの影響がなければ、もっと会葬者が増えた可能性はありますか。

1. ある → () 人くらいまで増えた可能性がある
2. ない

新型コロナウイルスの影響がなければ会葬者が増えた可能性が「ある」との回答は 27.9%と 3割以下にとどまっている。

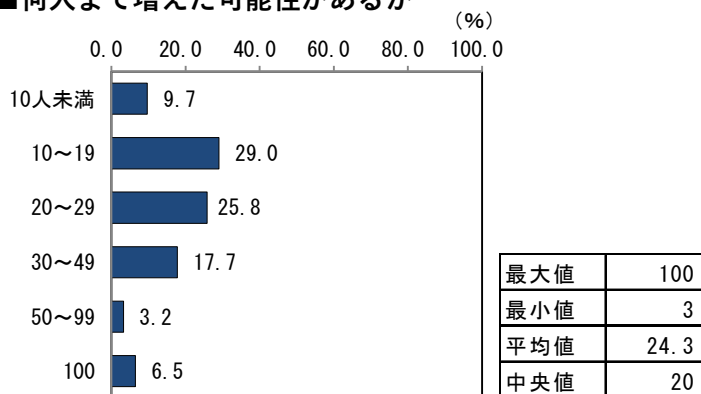
「何人くらいまで増えた可能性があるか」との問への回答(数値)は、平均で 24.3 人であった。ただ、「50」人以上との回答が計 9.7%あるが、これらは回答者が「葬儀全体の会葬者」を回答したものではないか、それに伴い、数値が押し上げられた可能性があるのではないかと考えられる。

■全体集計



(1 つだけ選択、回答者数=222、無回答除く)

■何人まで増えた可能性があるか (%)



(数値記述回答、回答者数=62、無回答除く)

7) 葬式の形態

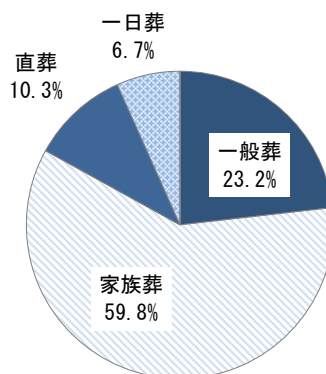
問6 あなたが直近で火葬場を利用された際、お葬式はどのような形態で行いましたか。(1つだけ○をつけてください)

- | | | |
|--------|------------|-------|
| 1. 一般葬 | 2. 家族葬 | 3. 直葬 |
| 4. 一日葬 | 5. その他 () | |

「家族葬」が59.8%で最も多かった。以降「一般葬」23.2%、「直葬」10.3%、「一日葬」6.7%と続く。

属性別では、有意な差は見られなかった。

■全体集計



(1つだけ選択、回答者数=224、無回答除く)

8) 特別控室の利用経験

問7 (1) あなたは、これまで特別控室を利用したことがありますか。(1つだけ○をつけてください)

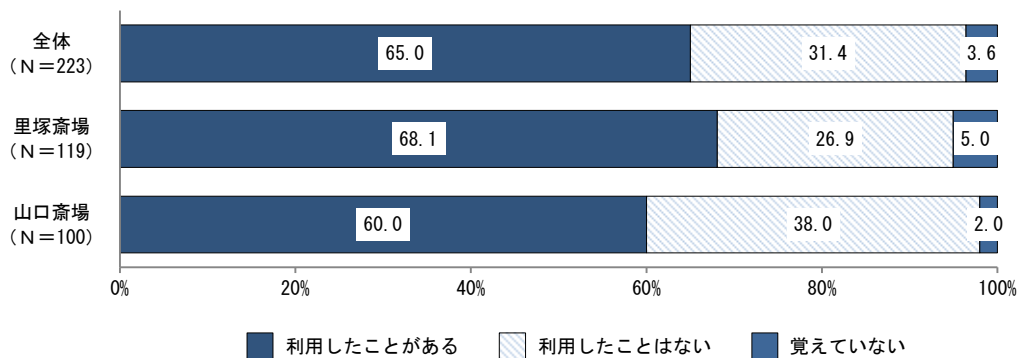
- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 利用したことがある | ⇒ 問7 (2)、問7 (3) へ |
| 2. 利用したことはない | ⇒ 問7 (4) へ |
| 3. 覚えていない | ⇒ 問8 へ |

全体集計では「利用したことがある」との回答は65.0%と約7割であった。

火葬場別で見ても両斎場とも「利用したことがある」との回答は6割以上であった(里塚斎場68.1%、山口斎場60.0%)。

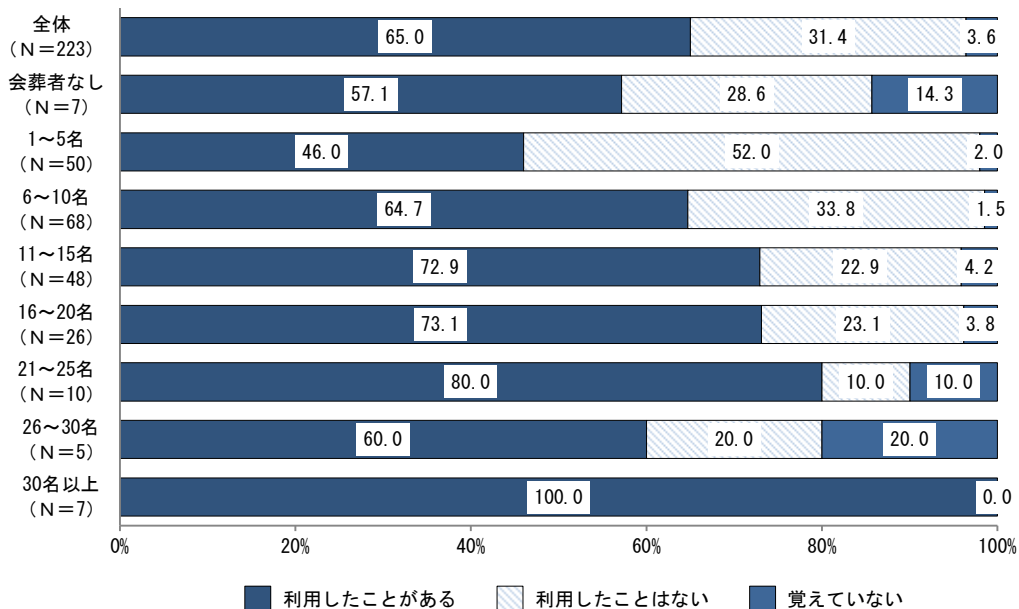
会葬者の人数別で見ると「利用したことがある」との回答率は「6～10名」では64.7%だが「21～25名」では80.0%であるなど、会葬者数が多くなるほど特別控室の利用経験は増える傾向にある。

■利用火葬場別



(1 つだけ選択、無回答除く)

■会葬者人数別



(1 つだけ選択、無回答除く)

9) 特別控室の広さについての感想

「問 7 (1) で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。」

問 7 (2) あなたは特別控室の広さについて、どのように感じましたか。(1 つだけ○をつけてください)

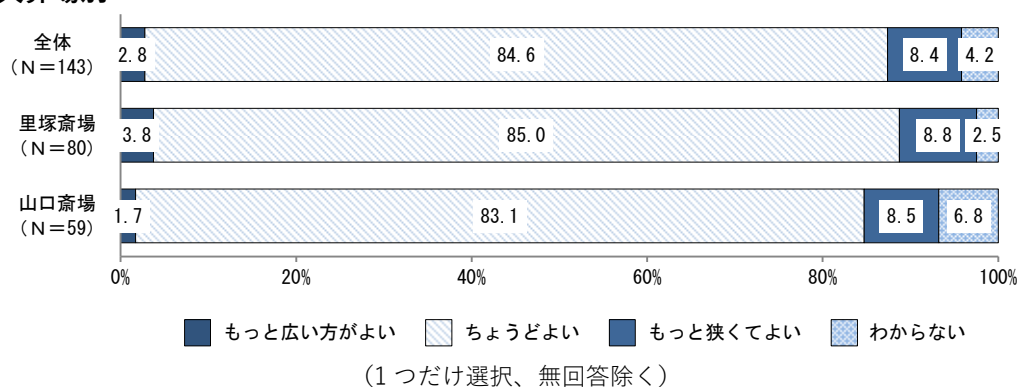
- | | |
|--------------|-----------|
| 1. もっと広い方がよい | 2. ちょうどよい |
| 3. もっと狭くてよい | 4. わからない |

全体集計では 84.6%の回答者が「ちょうどよい」と回答した。

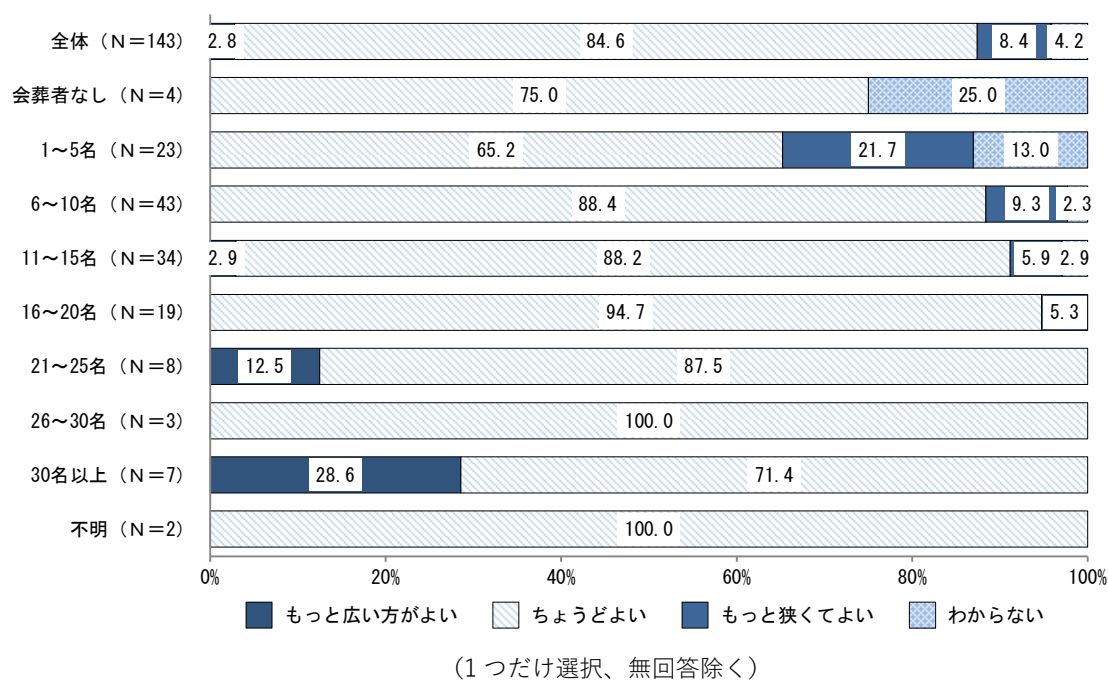
火葬場別に見ても、里塚斎場では 85.0%、山口斎場では 83.1%が「ちょうどよい」と回答している。

会葬者の人数別に見ると、人数が少ないほど「もっと狭くてよい」の回答率が大きかった。

■利用火葬場別



■会葬者の人数別



10) 特別控室を利用した理由

≪問 7 (1) で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。≫

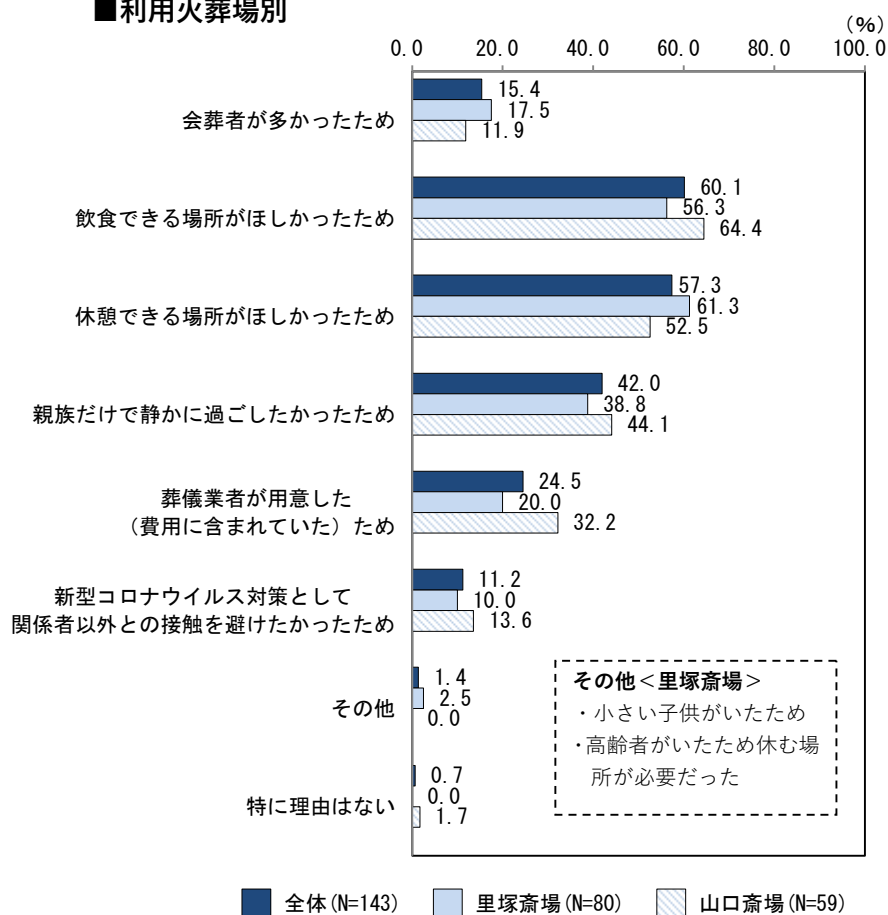
問 7 (3) あなたが特別控室を利用した理由はなんですか。(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 会葬者が多かったため | 2. 飲食できる場所がほしかったため |
| 3. 休憩できる場所がほしかったため | 4. 親族だけで静かに過ごしたかったため |
| 5. 葬儀業者が用意した（費用に含まれていた）ため | |
| 6. 新型コロナウイルス対策として関係者以外との接触を避けたかったため | |
| 7. その他（ ） | 8. 特に理由はない |

全体集計では「飲食できる場所がほしかったため」が 60.1%で最も多く、「休憩できる場所がほしかったため」(57.3%)、「親族だけで静かに過ごしたかったため」(42.0%)と続く。

利用火葬場別に見ると、山口斎場については全体と同様の順番だったが、里塚斎場については「休憩できる場所がほしかったため」(61.3%)が最も多かった。里塚斎場のロビーが山口斎場と比較して狭いことを踏まえた結果だと考えられる。

■利用火葬場別



(複数選択可、無回答除く)

11) 特別控室を利用しなかった理由

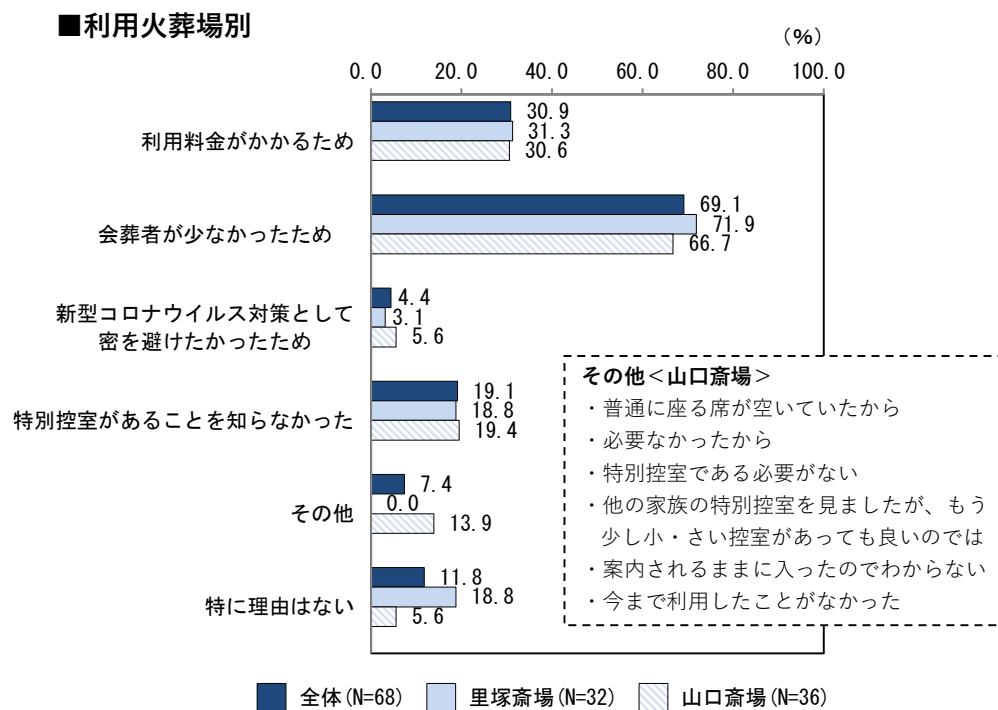
≪問 7 (1) で「2. 利用したことはない」と答えた方にお聞きます。≫

問 7 (4) あなたが特別控室を利用しなかった理由は何ですか。(いくつでも丸を付けてください)

- | | | |
|-----------------------------|------------|----------|
| 1. 利用料金がかかるため | ⇒問 7 (5) へ | } ⇒問 8 へ |
| 2. 会葬者が少なかったため | | |
| 3. 新型コロナウイルス対策として密を避けたかったため | | |
| 4. 特別控室があることを知らなかった | | |
| 5. その他 () | | |
| 6. 特に理由はない | | |

全体集計では「会葬者が少なかったため」が最も多く 69.1%であった。以下「利用料金がかかるため」(30.9%)、「特別控室があることを知らなかった」(19.1%)と続く。

利用火葬場別でも同様の結果となっている。



(複数選択可、無回答除く)

12) 特別控室の料金がどのくらいなら利用したか

≪問 7 (4) で「1. 利用料金がかかるため」と答えた方にお聞きます。≫

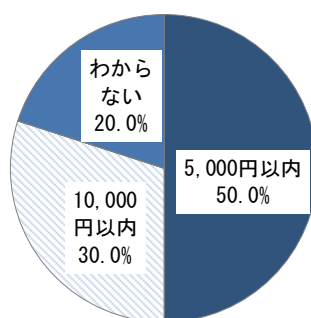
問 7 (5) あなたは、特別控室の利用料がどのくらいなら利用しましたか。(1 つだけ○をつけてください)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ～5,000 円以内 | 2. ～10,000 円以内 |
| 3. ～15,000 円以内 | 4. ～20,000 円以内 |
| 5. わからない | |

回答者の 50.0% (10 人) が「～5,000 円以内」、30.0% (6 人) が「～10,000 円以内」と回答。「～15,000 円以内」「～20,000 円以内」を選んだ回答者はいなかった。

なお、火葬場別の集計結果(里塚斎場、山口斎場とも回答者数 10 人)においても上記と全く同じ割合となっている。

■全体集計



(1 つだけ選択、回答者数=20、無回答除く)

13) 火葬場施設の混雑状況についての感想

問 8 あなたは、施設内の混雑状況についてどのように感じましたか。（いくつでも○をつけてください）

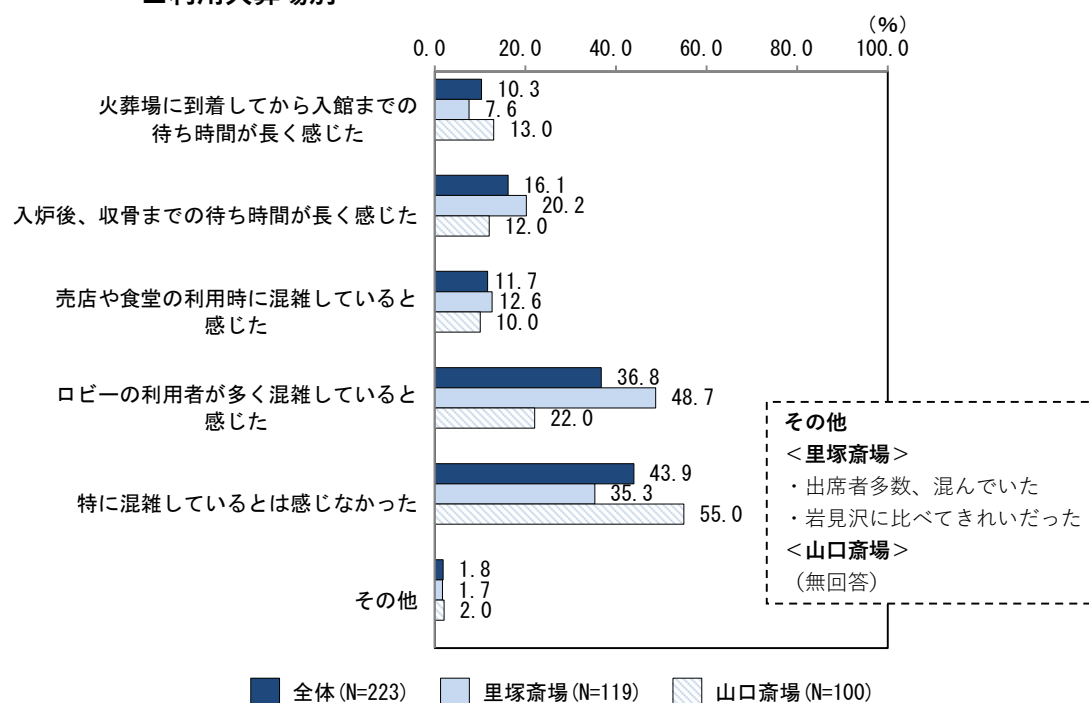
1. 火葬場に到着してから入館までの待ち時間が長く感じた
2. 入炉後、収骨までの待ち時間が長く感じた
3. 売店や食堂の利用時に混雑していると感じた
4. ロビーの利用者が多く混雑していると感じた
5. 特に混雑しているとは感じなかった
6. その他（ ）

この設問では里塚斎場利用者と山口斎場利用者とで集計結果が大きく異なった。

里塚斎場利用者の回答で最も多かったのは「ロビーの利用者が多く混雑していると感じた」で実に半数近くの人（48.7%）が挙げている。以下、「特に混雑しているとは感じなかった」（35.3%）、「入炉後、収骨までの待ち時間が長く感じた」（20.2%）と続く。

一方、山口斎場利用者で最も多かった回答は「特に混雑しているとは感じなかった」で6割近くの人（55.0%）が挙げている。里塚斎場利用者で最も多かった「ロビーの利用者が多く混雑していると感じた」は33ポイント低く22.0%であった。以下「火葬場に到着してから入館までの待ち時間が長く感じた」「入炉後、収骨までの待ち時間が長く感じた」「売店や食堂の利用時に混雑していると感じた」はほぼ同率で次ぐ結果（13.0%、12.0%、10.0%）となっている。

■利用火葬場別



（複数選択可、無回答除く）

（４）葬送に関する風習等への考え

1) 希望する火葬場の利用時間帯

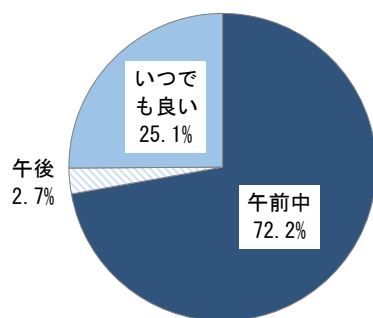
問 9 （１） あなたが、今後、火葬場を利用する際に希望する時間帯をお答えください。（１つだけ○をつけてください）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 午前中 | ⇒問 9 （２）へ |
| 2. 午後 | } ⇒問 9 （３）へ |
| 3. いつでも良い | |

全体集計では「午前中」が72.2%と7割を超え、「午後」はわずか2.7%であった。

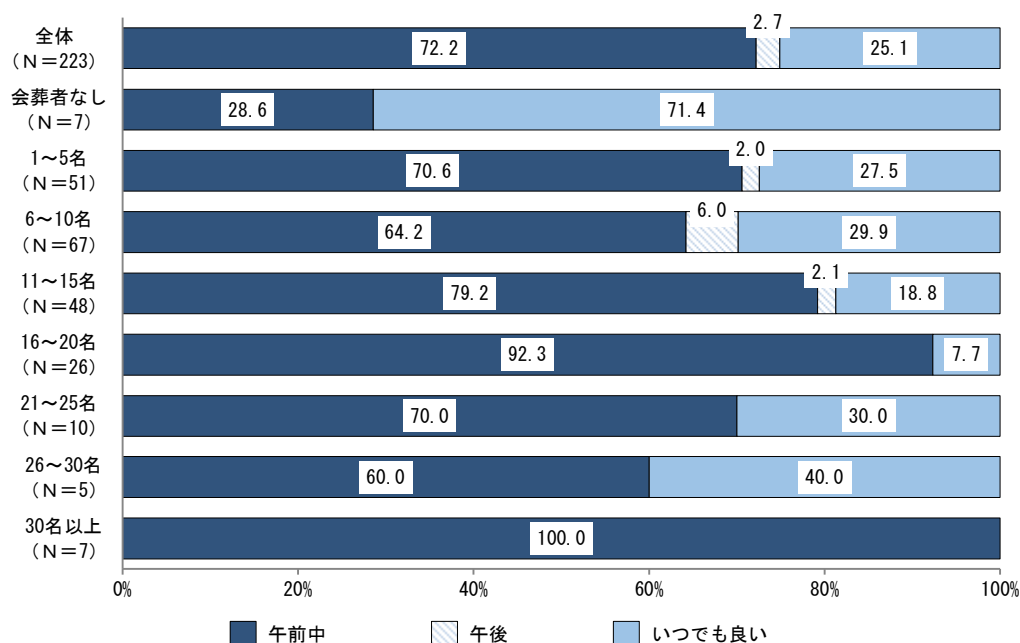
会葬者の人数別に「いつでも良い」の回答を見ると、概ね、会葬者が多くなるにつれその率は減少している。

■全体集計



（１つだけ選択、回答者数=223、無回答除く）

■会葬者の人数別



（１つだけ選択、無回答除く）

2) 午前中の火葬を希望する理由

«問 9 (1) で「1. 午前中」と答えた方にお聞きます。»

問 9 (2) あなたが午前中の火葬を希望する理由は何ですか。(いくつでも○をつけてください)

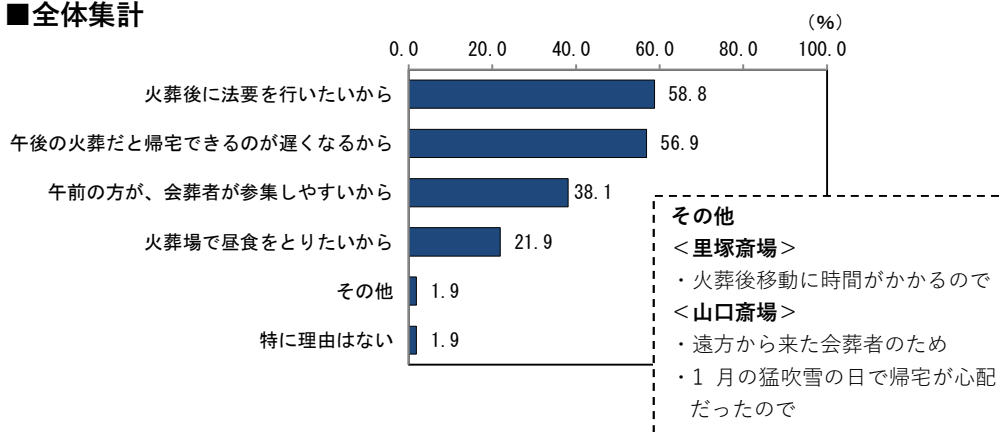
1. 火葬後に法要を行いたいから
2. 午後の火葬だと帰宅できるのが遅くなるから
3. 午前の方が、会葬者が参集しやすいから
4. 火葬場で昼食をとりたいから
5. その他 ()
6. 特に理由はない

全体集計では「火葬後に法要を行いたいから」(58.8%)、「午後の火葬だと帰宅できるのが遅くなるから」(56.9%)がほぼ同率で、以下「午前の方が、会葬者が参集しやすいから」(38.1%)、「火葬場で昼食をとりたいから」(21.9%)が次ぐ結果となった。

会葬者の人数別に見ると、会葬者が多くなるにつれ、概ね「火葬後に法要を行いたいから」の回答率が増えている。また、統計的に有意な差ではないものの「午前の方が、会葬者が参集しやすいから」「火葬場で昼食をとりたいから」の回答率が増え、「午後の火葬だと帰宅できるのが遅くなるから」は減っている。

問 9 (1) における会葬者の人数別集計結果と合わせて考えると、会葬者が多くなるほど会葬者の都合（葬儀・火葬・火葬後の法要への参集のしやすさ、昼食の便宜）を考えて「午前中」の火葬が選択される傾向が強いことが推察される。

■全体集計



(複数選択可、回答者数=160、無回答除く)

■会葬者の人数別

	火葬後に法要を行いたいから	午後の火葬だと帰宅できるのが遅くなるから	午前の方が、会葬者が参集しやすいから	火葬場で昼食をとりたいたから	その他	特に理由はない
全体 (N=160)	58.8	56.9	38.1	21.9	1.9	1.9
会葬者なし (N=2)	—	100.0	—	—	—	—
1～5名 (N=36)	33.3	61.1	36.1	8.3	2.8	5.6
6～10名 (N=42)	54.8	61.9	40.5	19.0	2.4	2.4
11～15名 (N=38)	73.7	52.6	34.2	28.9	—	—
16～20名 (N=24)	70.8	45.8	50.0	29.2	4.2	—
21～25名 (N=7)	71.4	57.1	42.9	28.6	—	—
26～30名 (N=3)	66.7	66.7	—	33.3	—	—
30名以上 (N=7)	85.7	57.1	42.9	42.9	—	—

(複数選択可、無回答除く、単位は%)

3) 友引に火葬を行うことについての感想

«みなさまにお聞きます»

問9 (3) 他の自治体では友引※の日も火葬場を開場する事例が増えてきています。あなたは友引の日に火葬を行うことについてどのように感じますか。

(1つだけ○をつけてください)

1. 抵抗がある 2. やや抵抗がある 3. 抵抗はない 4. わからない

※友引とは「大安」や「仏滅」等の六曜のうちの一つ。札幌市を含め一部の自治体では葬儀や火葬を避ける傾向があるが、政令市のうち半数以上は友引にも開場し火葬している。

全体集計では「抵抗はない」との回答が半数を超えている(54.0%)。一方「抵抗がある」「やや抵抗がある」の合計は40.2%であった。

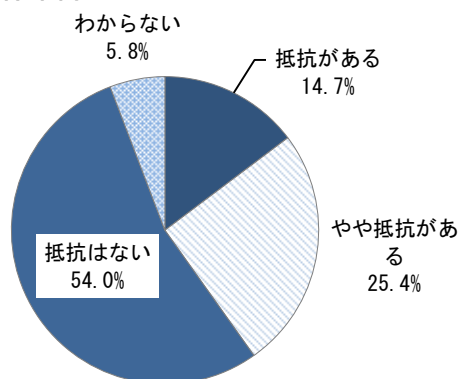
年齢別に見ると、「60代」で「抵抗がある」「やや抵抗がある」の合計が46.3%と半数に迫っていることが注目される。

また、世帯構成別では夫婦世帯(自身と配偶者)のみ「抵抗はない」との回答が5割を下回り(41.0%)、「抵抗がある」「やや抵抗がある」の合計が5割を上回る(55.7%)という他の世帯構成の回答とは逆の結果となっている。

なお、年代別に世帯構成を見ると、60代では夫婦世帯(自身と配偶者)の率が他の年代より高い。

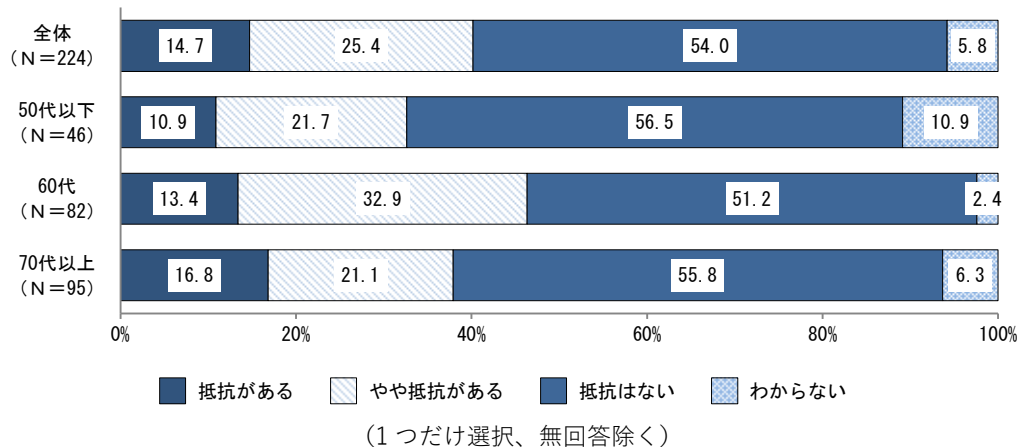
以上より、夫婦世帯者は配偶者を想う気持ちから「友が(死に)引かれる」という「友引」にまつわる俗信を心配している率が比較的高いのではないかと(伴い、夫婦世帯が多い60代の俗信を心配する率も高くなっているのではないかと)推察される。

■全体集計

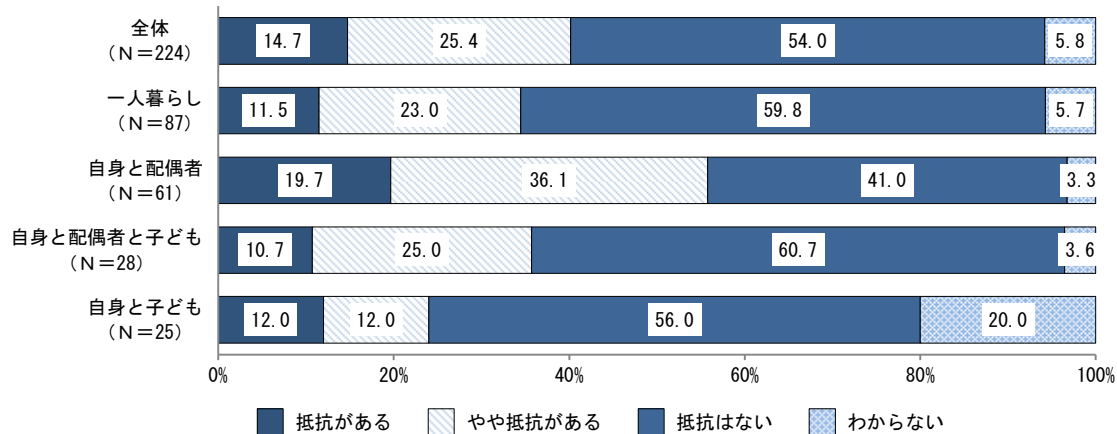


(1つだけ選択、回答者数=224、無回答除く)

■年齢別



■世帯構成別



■年齢（再集計）×世帯構成

	一人暮らし	自身と配偶者	自身と配偶者と子ども	自身と子ども	自身と親	自身と配偶者と親	三世代同居	その他
全体 (N=224)	38.8	27.2	13.4	11.2	1.3	3.1	2.7	2.2
50代以下 (N=48)	27.1	27.1	27.1	8.3	2.1	6.3	2.1	-
60代 (N=82)	31.7	37.8	14.6	2.4	2.4	4.9	2.4	3.7
70代以上 (N=94)	51.1	18.1	5.3	20.2	-	-	3.2	2.1

(1 つだけ選択、無回答除く、単位は%)

（５）火葬の費用負担のあり方

1) 火葬料金をどのくらいまでなら負担してよいと思うか

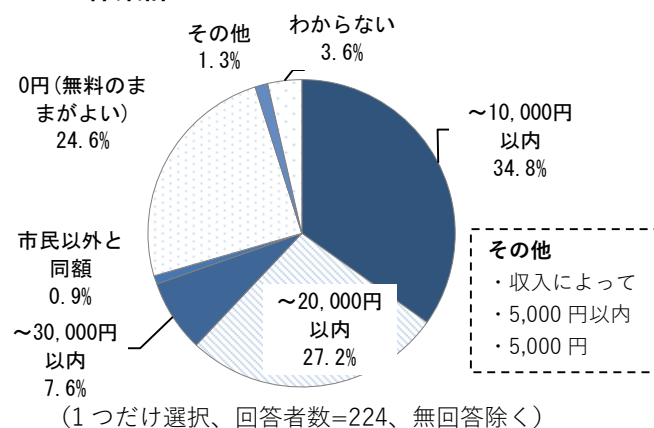
問 10 **市民の火葬料金**について、あなたはどのくらいまでなら負担してもよいと思いますか。なお、政令指定都市（20 市のうち市民を無料としている札幌・新潟・浜松の 3 市を除く）における市民の火葬料金は 5,000 円～20,000 円（平均約 10,800 円）です。（1 つだけ○をつけてください）

- | | | |
|-------------------|-------------------------|----------------|
| 1. ～10,000 円以内 | 2. ～20,000 円以内 | 3. ～30,000 円以内 |
| 4. 30,000 円以上 | 5. 市民以外と同額（現在 49,000 円） | |
| 6. 0 円（無料のままだがよい） | 7. その他（ ） | 8. わからない |

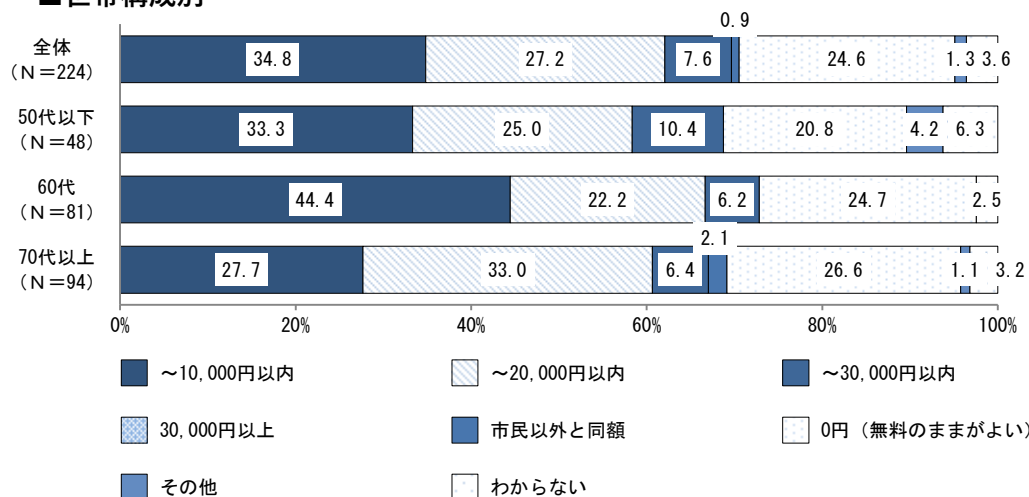
全体集計では「～10,000 円以内」が最も多く 34.8%、「～20,000 円以内」が次いで 27.2%、「0 円（無料のままだがよい）」は 24.6%で 3 位であった。20,000 円超（「～30,000 円以内」「30,000 円以上」「市民以外と同額」の計）は 8.5%にとどまっている。

世帯構成別では回答に大きな差が見られた。「0 円（無料のままだがよい）」の回答率に着目すると、特に単親世帯（自身と子ども）で 41.7%、単身世帯（一人暮らし）で 29.1%と比較的高くなっている。

■全体集計



■世帯構成別



2) 火葬場に関する意見・要望

問 11 火葬場に関してご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

(回答者数=34 ※複数意見あり)

火葬料金・費用 (8 件)

- ・ 家族がなくなる場合、お葬式の負担が大きく、目に見えないお金も出てしまい、色んな物の値段が上がっているの火葬料金は無料にして欲しい (山口斎場利用者、60 代女性)
- ・ 火葬に料金をかけずに控室に小部屋をつくり、料金も高くせずに必ずつかってもら。料金が安ければロビーで待たずに、静かに待つこともできる (里塚利用者、60 代女性)
- ・ 将来、5～6 名程度の家族葬になったら、費用節約のため、控室は利用しません (山口利用者、60 代女性)
- ・ 火葬費以外の費用負担が良いと思います。駐車代、入場料など (山口利用者、70 代以上女性)
- ・ 火葬料と控室使用料を一緒にする。料金は部屋の広さで変える (里塚利用者、50 代女性)
- ・ 火葬場の運営を、そこで採算を取ろうとすると無理があるのはわかります。でも人間は絶対に死を迎えますし、必ず火葬しなければならないのですから、税金を投入して良いと思いますので、0 円でお願いしたいです (里塚利用者、50 代男性)
- ・ 葬祭費の支給をやめるか減額して、火葬場の運営に回すことはできないか。生活保護受給者世帯より低い収入で、自力で生活している人からも料金を取りたいと考えているのだろうか。生活保護受給者は何から何まで税金で面倒見てもらえるのに、自分で収入を得ている人は何か利用すると利用料金が発生する。火葬場に限らないが、札幌市に来る外国人観光客からガンガン税金を取って、それを市民のために使える仕組みを市で考えてほしい。受益者負担という言葉が出てくるが、市から言われるのは納得できない。受益者負担の原則に反すると、問題が指摘されているふるさと納税を受け付けている市がそれを主張するのか、という気持ちになる。他の制度も受益者負担の適正化が進められるのか、火葬場利用者だけが言われるのか (山口利用者、70 代以上男性)
- ・ 私も主人も里塚斎場にお世話になると思う。火葬料はいただいても良いと思う。どうしても払えない方は札幌市の負担でも良いと思う。父の時はお世話になりました。ありがとうございました (里塚利用者、50 代女性)

施設に関する要望 (5 件)

- ・ 特別控室の利用率が 5 割程度とありますが、お葬式の小規模化が進む中で、40 名規模の部屋は必要ありません。10 名、20 名、30 名、40 名等、料金も低いところから設定すれば利用率が上がるのでは。(部屋のサイズを選択できるように) 私の場合は 4 名で利用。広すぎでした (里塚利用者、70 代以上女性)
- ・ 特別控室は人数に見合った広さが選べるように、一律に 40 人用ではなく、10 人や 20 人の部屋があってもよいのでは。あるいは広い部屋にして、パーティションで区切れるようにすれば、人数に合わせて調整できるのでは。料金は使用スペースに応じて払ってもら (山口利用者、70

代以上男性)

- ・特別控室はもう少し狭い部屋を多くしてロビーの混雑を緩和して欲しい。(山口利用者、60 代男性)
- ・高齢者が多いため、控室を和室から洋室に変更して欲しい。(里塚利用者、60 代男性)
- ・階段が多すぎる。小さい子供が退屈しないスペースがほしい(里塚利用者、50 代女性)

スタッフの対応 (5 件)

- ・あまりにも流れ作業すぎる。職員の対応も事務的で個人を送る家族に対してお悔やみの対応ではなく気分が悪かった。1 か月前に埼玉の斎場で素晴らしい対応を受けたばかりだったので札幌の対応にがっかりした(山口利用者、60 代女性)
- ・骨上げの時の担当者の態度が少し冷たいと感じた(里塚利用者、70 代以上女性)
- ・担当によって丁寧さが違う(里塚利用者、60 代男性)
- ・利用した際の対応はとても良かったです(山口利用者、60 代男性)
- ・大変な仕事、いつもありがとうございます。(里塚利用者、60 代男性)

友引の開場 (3 件)

- ・友引だったので長く感じた。友引でもできるようにして欲しい(山口利用者、70 代以上女性)
- ・もう 10 年もすれば友引にこだわらない人の方が多くなるのでは。友引開場するのであれば、TV ニュースに取り上げられるだけでなく、抵抗をなくすよう広く一般に周知する必要があると思います(山口利用者、60 代女性)
- ・友引は仏教とは何の関係もない風習だと聞いたことがある。そういう迷信をなくしていくことも大切では(里塚利用者、60 代女性)

火葬場の新築 (2 件)

- ・180 万都市で 2 か所は足りない。里塚を整備するとしても、3 か所目の新築を望む(山口利用者、60 代男性)
- ・今ある火葬場の設備更新などにしっかりお金をかけてもらって、税金を使って新しい火葬場は作らずに対応していただきたい。オリンピックに税金を使わなくて済んで良かったです(山口利用者、60 代男性)

施設・環境に対するお褒め・高評価 (5 件)

- ・山口は新しくてきれいでした。皆さん喜んでいました(山口利用者、70 代以上女性)
- ・きれいでした。待たされても苦にならなかった。穏やかに家族、親せきと過ごせました(里塚利用者、50 代女性)
- ・清潔で、お見送りする場として適当と思いました(山口利用者、70 代以上男性)
- ・山口斎場については申し分ない(山口利用者、70 代以上男性)
- ・昔のイメージと違った(山口利用者、50 代男性)

このアンケートについて（2件）

- ・思い出して悲しく辛くなるだけなのでこのようなことはやめてほしいです。（里塚利用者、50代女性）
- ・このようなアンケートを実施することは本当に良いことだと思います。（里塚利用者、70代以上女性）

その他（9件）

- ・札幌の取組は知らないが本州で親が亡くなった際は8週間待たされた（山口利用者、50代女性）
- ・場所がちょっと遠い感じがしました（山口利用者、50代男性）
- ・様々な工夫をして待ち時間が短縮されることを望みます（里塚利用者、60代男性）
- ・お弁当がおいしくない（里塚利用者、50代女性）
- ・火葬場のことは1年も経つのであまりきちんと覚えておらず申し訳ありません（山口利用者、50代女性）
- ・火葬場は突然亡くした叔母のことで利用しましたが、その時になって初めてわかることばかりでした。不安なく安心して利用できる場になることを望みます（山口利用者、50代女性）
- ・埋葬についてもアドバイスをもらいたい（山口利用者、60代男性）
- ・多死社会ということは全く知りませんでした。現実問題は間違いなくそうなりますね。私自身の時も、費用はできる限り少なく短時間で終わらせたいと考えています（里塚利用者、70代以上女性）
- ・市民ではなく葬儀会社にいうべき（里塚利用者、70代以上女性）

（6）終活について

1）終活の取組状況

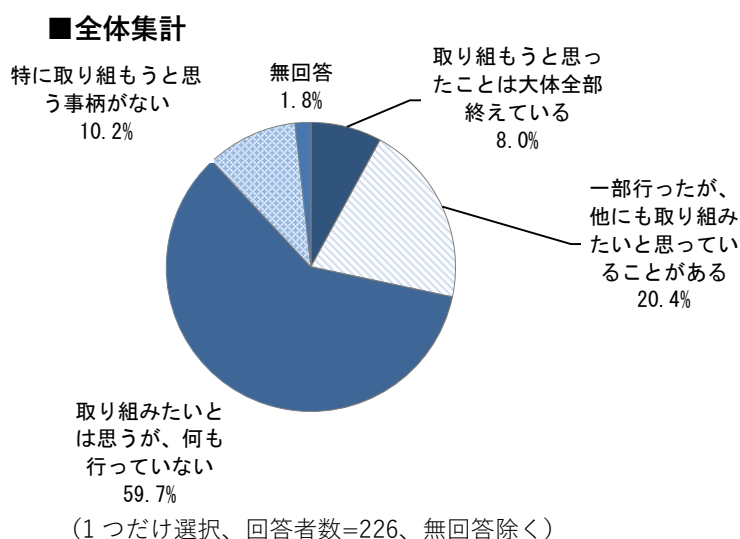
問 12（1） あなたの終活に関する取組状況について、あてはまるものに○をつけてください。
（1つだけ○をつけてください）

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 取り組もうと思ったことは大体全部終えている | ⇒問 12（3）へ |
| 2. 一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある | ⇒問 12（3）へ |
| 3. 取り組みたいと思うが、何も行っていない | ⇒問 12（2）へ |
| 4. 特に取り組もうと思う事柄がない | ⇒問 12（3）へ |

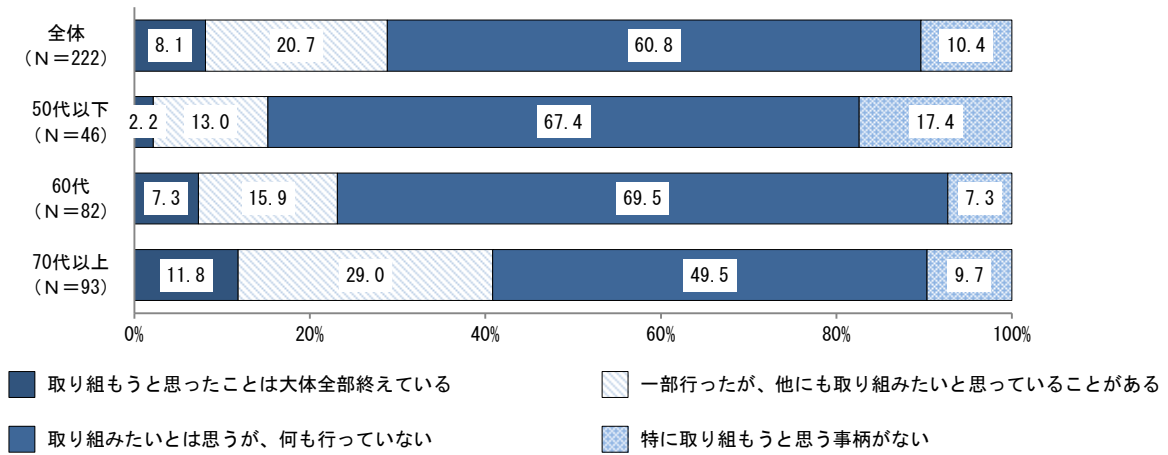
全体集計では、何らかの取り組みを行った人、すなわち「取り組もうと思ったことは大体全部終えている」「一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある」回答者は計 28.4%であった。

年齢別で見ると、何らかの取り組みを行った人（「取り組もうと思ったことは大体全部終えている」「一部行ったが、他にも取り組みたいと思っていることがある」回答者）の率は、50 代以下では 15.2%、60 代では 23.2%、70 代以上では 40.9%と、年齢が上がるにつれ多くなっていた。

世帯構成別では大きな差が見られた。「取り組みたいと思うが、何も行っていない」の率を見ると、単親世帯（自身と子ども）で 36.0%、単身世帯（一人暮らし）で 46.5%と半数以下だった一方、夫婦と子世帯（自身と配偶者と子ども）では 65.5%、夫婦世帯（自身と配偶者）では実に 80.0%と高い値となっている。

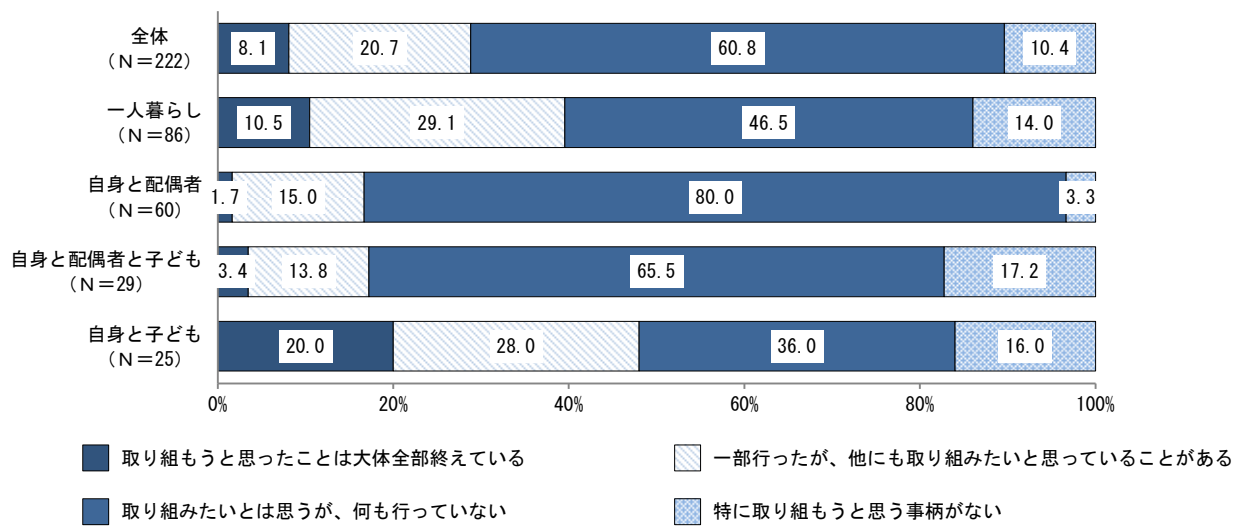


■年齢別



(1 つだけ選択、無回答除く)

■世帯構成別



(1 つだけ選択、回答者数が 10 人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く)

2) 終活を行っていない理由

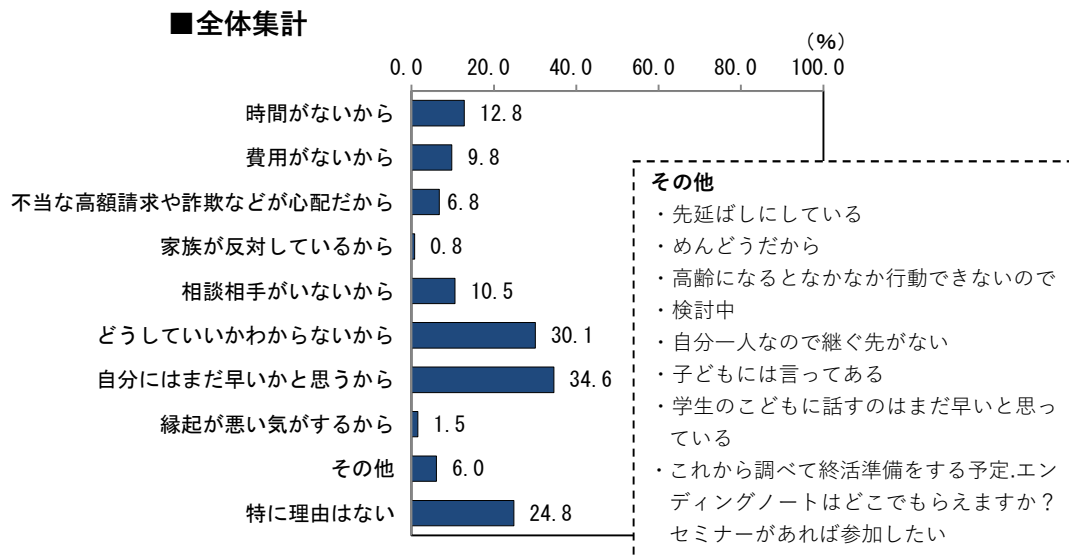
«問 12 (1) で「3. 取り組みたいと思うが、何も行っていない」と答えた方にお聞きます。»

問 12 (2) その理由はなんですか。(いくつでも○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 時間がないから | 2. 費用がないから |
| 3. 不当な高額請求や詐欺などが心配だから | 4. 家族が反対しているから |
| 5. 相談相手がいないから | 6. どうしていいかわからないから |
| 7. 自分にはまだ早いと思うから | 8. 縁起が悪い気がするから |
| 9. その他 () | 10. 特に理由はない |

全体集計では「自分にはまだ早いと思うから」が最も多く 34.6%、「どうしていいかわからないから」(30.1%)、「特に理由はない」(24.8%) の順で次ぐ。

年齢別では 50 代以下では「自分にはまだ早いと思うから」との回答が 48.4%と半数近くを占め、60 代でも最も多い結果となった (36.8%)。70 代以上では「どうしていいかわからないから」が 36.4%で最も多くなっている。また、60 代、70 代で「特に理由はない」が 2 番めに多くなっていることも注目される。



(複数選択可、回答者数=133、無回答除く)

■年齢別

	時間がないから	費用がないから	配当から高額請求や詐欺などが心	家族が反対しているから	相談相手がいないから	どうしてもいいかわからないから	自分にはまだ早いからと思うから	縁起が悪い気がするから	その他	特に理由はない
全体 (N=133)	12.8	9.8	6.8	0.8	10.5	30.1	34.6	1.5	6.0	24.8
50代以下 (N=31)	19.4	9.7	3.2	-	12.9	25.8	48.4	-	9.7	9.7
60代 (N=57)	17.5	8.8	5.3	-	7.0	26.3	36.8	1.8	5.3	26.3
70代以上 (N=44)	2.3	11.4	11.4	2.3	13.6	36.4	22.7	2.3	4.5	34.1

(複数選択可、無回答除く、単位は%)

3) 終活に関する困りごと・不安

《みなさまにお聞きます》

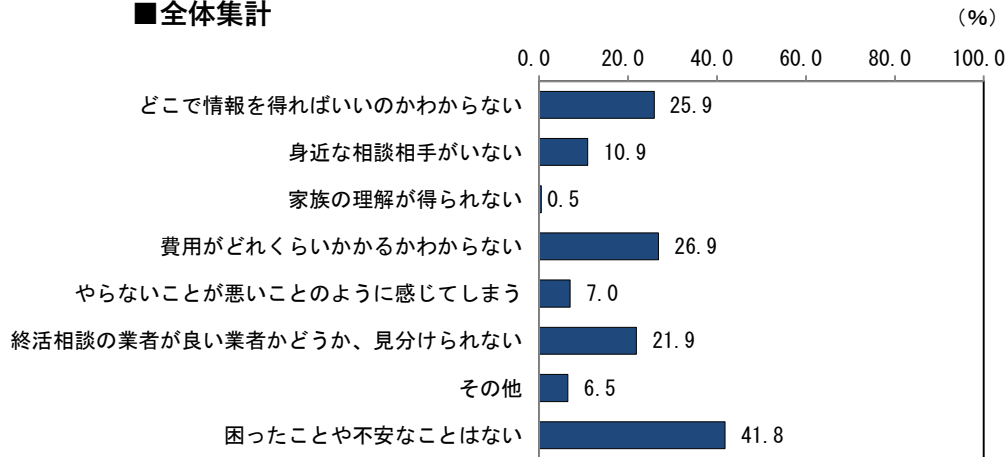
問 12 (3) あなたは、終活について、困ったことや不安なことはありますか。(いくつでも○をつけてください)

1. どこで情報を得ればいいのかわからない
2. 身近な相談相手がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 費用がどれくらいかかるかわからない
5. やらないことが悪いことのように感じてしまう
6. 終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない
7. その他 ()
8. 困ったことや不安なことはない

全体集計では「困ったことや不安なことはない」が最も多く約4割超(41.8%)の人が挙げた。以下「費用がどれくらいかかるかわからない」(26.9%)、「どこで情報を得ればいいのかわからない」(25.9%)、「終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない」(21.9%)と続く。

世帯構成別で見ると、特に単身世帯(一人暮らし)で他の類型よりも「困ったことや不安なことはない」の回答率が大幅に低く(28.9%)、その一方で「終活相談の業者が良い業者かどうか、見分けられない」(34.2%)、「費用がどれくらいかかるかわからない」(32.9%)が多くなっている。自身の終活について相談すべき業者や費用面について他よりも不安を抱えていることがわかる。

■全体集計



その他

- ・相談する人はいるがまだ取り組んでいない
- ・めんどうに感じる
- ・まわりの状況や変化を見ながら進めようと思っている
- ・これから調べる
- ・今のところまだわからない
- ・何先にするか考えているだけで進んでいない。今の相続で税金などどれだけかかるのか。今は低所得でも障害年金で暮らしています
- ・相続人がいないのでどうすればよいか
- ・身内がいない
- ・子どもの理解。お墓もあるので
- ・セミナーなど終活について聞きたい
- ・自分自身の葬儀のみなので、終活というほど大きな問題ではないと思っている
- ・もう決めている。あとは整理

(複数選択可、回答者数=133、無回答除く)

■世帯構成別

	か ど こ で 情 報 を 得 れ ば い い の か わ	身 近 な 相 談 相 手 が い な い	家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い	ら 費 用 が ど れ く ら い か か る か わ か	に 感 じ て し ま う や ら な い こ と が 悪 い こ と の よ う	う 終 活 、 相 談 の 業 者 が 良 い 業 者 か ど	そ の 他	困 っ た こ と や 不 安 な こ と は な い
全体 (N=201)	25.9	10.9	0.5	26.9	7.0	21.9	6.5	41.8
一人暮らし (N=76)	27.6	15.8	—	32.9	11.8	34.2	7.9	28.9
自身と配偶者 (N=54)	22.2	9.3	1.9	22.2	3.7	14.8	3.7	50.0
自身と配偶者と子ども (N=27)	25.9	14.8	—	25.9	7.4	14.8	11.1	40.7
自身と子ども (N=23)	21.7	—	—	17.4	4.3	13.0	8.7	47.8

(複数選択可、回答者数が10人以下の世帯構成は表示せず、無回答除く、単位は%)

4) 終活に関する意見・要望

問 12 (4) 終活についてのご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

(回答者数=24)

困ったこと・不安・不安感 (7 件)

- ・母が春に亡くなりました。その母もノートを持っていたのですが、病院などに行っていることが多く、話し合いがなかなか進みませんでした (50 代男性)
- ・遺言書の正しい書き方がはっきりわかっていません。去年の叔母の口約束で身に染みしています。私の母もそうですが、自分自身も家族もやっていません。不安しかありません。相続するのは年齢制限があるのか、どこで聞いていいかわからない (50 代女性)
- ・夫が亡くなり、後のことは私が行いました。自分のことは子どもたちにある程度話しています。ただ、自分の死亡後なので子どもたちは色々大変だと思います (70 代以上女性)
- ・子どもの仲が悪くならないと良い (60 代男性)
- ・今ここで死んだら、という不安がありますが、まずは自身の健康と体力に気を付け、一人で暮らす楽しさを見つけておりますが、世の中の子どもなし、夫なしの方はどのように後始末されるのでしょうか (70 代以上女性)
- ・家族になるべく迷惑を掛けたくない (70 代以上男性)
- ・この先不安です (60 代女性)

業者に関して (3 件)

- ・終活相談業者の信頼性にとても不安を感じる。弱い立場の人たちを悪用する事件があまりにも多すぎる (70 代以上女性)
- ・不必要なものを処分する際に、品物によって業者が違うのでめんどろ。また、悪い業者だったら怖いので不安。札幌市で終活担当部門をつくり、全て担当してくれると安心 (50 代女性)
- ・札幌市も終活のやり方や、いらなくなったものを出せる業者を。トラブルが一番困る。やる気をなくす。ごみ屋敷にならないように踏み込んでほしい (70 代以上女性)

終活への自信 (3 件)

- ・がん闘病中だった主人がなくなり、生前、主人がお墓を用意してくれたり、その後のこともよく話し合っていたので、私の死後のことも子供に伝えている。特別に終活は必要ない (60 代女性)
- ・残された家族に迷惑が掛からないよう準備をする。できる範囲で行うべきで、終活にクローズアップすることではないと思う (60 代男性)
- ・夫は仕事柄転勤が多く、また官舎住まいでしたので荷物は都度片付けており少ない方でした。そのほかのことは家族とコミュニケーションを取って円滑に進めていきたいと思います。程度の問題もありますが、迷惑をかける、かけられる、と親子間でいう風潮は寂しく感じます (70 代以上女性)

広報・啓発（2件）

- ・終活マニュアルのようなものを札幌市で作って、希望者に配布してもらえるとありがたい（70代以上男性）
- ・各自の取組がベースとなるが、市としても広報さっぽろなどを通じて、市の実態を捉え、あるべき姿を多くの人で考えられるような施策を継続して欲しい（60代男性）

終活以前の生活等について（2件）

- ・終活と同時進行でリビングウィルも作成しなければと思っています（50代女性）
- ・終活の前の年金生活をどう変えていくか。あまりに年金が少ないため、働かざるを得ない。多忙な生活で体力もギリギリだが、同僚に支えられて頑張れている（60代女性）

その他（7件）

- ・死に対して不安のない保険、行政、世の中になってほしい（60代男性）
- ・80～85 くらいの年齢になったら考えたい（70代以上女性）
- ・自分の身边はきれいにして死にたい（70代以上女性）
- ・主人を亡くして間もないのに、自分の終活のことまでは考えられない。そのような余裕はない（50代女性）
- ・私の夫は20年前に亡くなりました。子供はいません。姉妹の世話になっています。お金は残しています（70代以上女性）
- ・札幌に住んでいるがお墓は横浜にあるので、お骨にして横浜のお墓に入れてもらうよう子供に伝えている（70代以上女性）
- ・近くに特養老人ホームがあればよいと思っています。民間の納骨堂は高額で困っています（70代以上女性）